

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	Ⓐ・B・C
	I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>常磐保育園の理念を「安全」「明るく」「楽しい」の三つのキーワードを使い、分かりやすい表現で明文化している。また、基本方針は、法人理念や保育園固有の理念の融合と具現化を目指し「信頼され満足度の高い保育園」「確かな力をつける保育園」「諸々の連携に力を入れる保育園」という表現で明文化している。さらに、子どもの目線に立ち、その目標となる発達の姿がより想像できる保育目標が明文化されている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		第三者評価結果
	I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	I-1-(2)-② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>理念・基本方針の職員周知については、全職員に配布する保育課程に明記し、職員会で読み合わせや年度末評価項目での確認等を通じて周知を図っている。また、利用者周知については、玄関等見やすいところに掲示し、入園・進級のしおり等配布物に掲載する等周知に努めている。さらに年度末に行われる園に対する保護者評価に理念・基本方針に係る項目があり、理解を深める取り組みを行っている。また、地域の回覧板への掲載等を通じて周知を促している。</p>		
改善できる点／改善方法：		

I-2 事業計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 園の自己評価を踏まえ、園の良さ・強みや園の課題等を分析し、中・長期計画が策定されている。中・長期計画を踏まえた事業計画、保育課程、年間行事、保険安全計画等が作成されている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
	I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	A・Ⓑ・C
<p>良い点/工夫されている点： 全職員による園の評価を踏まえて見直しを行い、次年度の計画が職員参画のもとに行われている。計画の職員への周知については、全職員への保育課程の配布や職員会議等での事業計画の進捗状況の説明を行う等周知を図っている。利用者等には、園だよりで事業計画の要旨報告がなされている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法： 保護者に行事計画だけでなく、経営状況も含めた事業計画についても分かりやすく伝えていくことが、より信頼を深めていくことにつながると考える。今後、保護者の情報ニーズに合わせて事業計画報告の資料作成について検討されるとのことであるので、その取り組みに期待したい。</p>		

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
	I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ・B・C
	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	A・Ⓑ・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>管理者の責任と役割については文書化され、園だよりも掲載されている。また、職員会議等で表明するとともに積極的に園内を見回り、きめ細やかな指導を行っている。遵守すべき法令等を正しく理解するための取組については、園長は法令遵守に関する研修会に積極的に参加し、職員会等を通じて職員に説明し、遵守法令の理解を深める取り組みを行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>今後、保育に関して遵守すべき関係法令について、法令のその関係する部分を綴りにして積み上げていき、一覧性を高めてリスト化し、日々の保育実践の中でも活かすことができるように、職員の法令遵守への意識を高める取り組みに期待する。</p>		
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
	I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・B・C
	I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園長は、日報のみならず、月案、週案も丁寧にチェックし指導力を発揮している。また保育サービスの質の現状について評価・分析を行い、サービスの質の向上に努めている。日々、写真撮影等の作業を通じて、園児や職員の様子を把握し、環境整備や職場人間関係の円滑維持に努めている。また、園長は、教育の管理者としての経験知を踏まえ、大局観に立ち、サービスの質の向上と経営の効率化という課題に取り組んでいる。子どもの利益を最善に考えながら、付与された経営環境の中での効率化に勤め、かつ職員の働きやすい勤務環境に配慮をしている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ－１ 経営状況の把握

Ⅱ－１－（１） 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者評価結果
	Ⅱ－１－（１）－① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－１－（１）－② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－１－（１）－③ 外部監査が実施されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育事業全体の動向について、的確に把握している。とりわけ幼保一体化や子ども園に関する今後の国の動向や市の施策動向について関心を持ち、注視している。また地域の市場分析を行い、中・長期計画に反映させている。経営状況の分析を行い、把握された課題について、改善に向けた取り組みを行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅱ－２ 人材の確保・養成

Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果
	Ⅱ－２－（１）－① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－２－（１）－② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>正職採用の方向として、保育士・幼稚園教諭の資格併有者を要件とし、適材適所での正規非正規配置を行い、競争力強化に向けて、効率的な延長保育体制の確立のために、きめ細やかな人事ローテーションを検討する等職場環境に配慮しながらも、戦略的な職員配置に心がけている。人事考課においては、自己評価も取り入れ、個別面談でフィードバックを行っている。職務を6分野に分類し、5段階尺度で評価する自己啓発面談資料等オリジナル様式がある。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。		
	Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－２－（２）－② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員の就業状況や有給休暇の取得状況について定期的にチェックし、個別面談等で把握した職員の意向・意見を踏まえて、就業環境の改善に努めている。とりわけ、時間外労働手当等の処遇について改善を行ってきた。また、法人の規定による福利厚生事業を実施し、職場環境整備や職員のチームワーク形成に心がけている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
	Ⅱ－２－（３）－① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－２－（３）－② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－２－（３）－③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員の教育・研修姿勢について、保育マニュアルや保育方針の中で明示している。研修は、非正規職員も含めた全職員を対象としている。外部研修は、個別に職員の意向を考慮し、役割や経験等を踏まえ、職位別に参加させている。また、受講後のレポート提出や職員会での発表等を通して研修内容が実践の向上に資すように努め、次の研修計画策定に反映している。児童教育機関である学校法人の系列であり、附属幼稚園をグループに持つので、三園合同研修会にも参加している。今後、系列法人と連携しての教員活用の工夫や三園での合同での公開保育等職員の資質向上に向けた新たな取り組みに強く期待したい。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ－２－（４） 実習生の受入れが適切に行われている。		第三者評価結果
	Ⅱ－２－（４）－① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>実習生受け入れのマニュアルに、基本的な姿勢が明示されており、マニュアルに沿って受け入れている。養成校の実習方針を踏まえながら、園としての方針で受け入れを行っている。実践的な実習と実習ノートの指導を重視している。</p>		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ－３ 安全管理

Ⅱ－３－（１） 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		第三者評価結果
	Ⅱ－３－（１）－① 緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－３－（１）－② 災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－３－（１）－③ 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>「安全」を理念に掲げており、安全を第一にした保育園運営に努めている。緊急時の安全確保のための各種マニュアルを整備し、職員周知を行うとともに研修訓練を実施し、また安全点検やヒヤリハット検討会等を通して緊急時の対応体制を整備している。また、地震等の災害への対策として防災マニュアルを整備し、職員周知を図り、訓練を通して防災意識を高めている。耐震診断を受け、落下防止措置を講じる等ハード面でも災害に備えている。備蓄リストを作成し、備蓄を整備している。また、保護者や職員の携帯メールの受信可能状況を把握し、安全確保の取り組みに力点を置いていることが伺える。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

II-4 地域との交流と連携

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者評価結果
	II-4-(1)-① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・B・C
	II-4-(1)-② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A・Ⓑ・C
	II-4-(1)-③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者は、常磐校区を越えて広範囲になる広域型の保育園であり、地域密着型の保育園ではないが、年間を通して様々な行事が、地域の方々の協力で実施されている。地域団体との関わりでは、戸石川水辺の楽校の計画、実践が地域の協議会方式で行われていることが特筆されるが、事業計画に位置づけいただければなお良い。園庭開放、子育て相談事業、絵本の貸出事業、ハッピーパパ・ママ保育所体験事業、一時預かり保育等を行い、保育園の有する機能を地域に還元している。ボランティアの受け入れについてはマニュアルを整備し、基本姿勢を明確にしている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>園庭開放、子育て相談事業、絵本の貸出事業、ハッピーパパ・ママ保育所体験事業、一時預かり保育等を行い、保育園の有する機能を地域に還元しているが、内容によっては、人的資源や空間スペース等物理的環境からして、これらの機能が十分発揮できているとはいえない状況がある。経営効率を高めながらの地域に向けた事業の拡充は、困難な事業でもあるが、地域ニーズの発掘や新たなサービスの発想は民間保育の醍醐味でもありと考える。大学との連携の強みを活かして、新たな発想、工夫により、今後の地域還元に向けた取り組みに期待する。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		第三者評価結果
	II-4-(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・B・C
	II-4-(2)-② 関係機関との連携が適切に行われている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>連携している関係機関、関係団体をリスト化し、職員に周知を図っている。近くの公園、長良公園、高齢者施設、警察署、消防署、JA等の地域の社会資源を活用した行事等を計画に取り入れている。今後、おんさい広場やマーサ等の見学や畜産センターでの動物との交流等の資源活用の拡充に向けた取り組みに期待する。関係機関との連携については、個々のケースで必要に応じて連絡会を行っており、不審者出没や安全を脅かす事態については、協働できるように連絡体制もできている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者評価結果
	II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズを把握している。	A・Ⓑ・C
	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	Ⓐ・B・C

良い点／工夫されている点：

園庭開放や行事開催の際に、地域の未就園児の子育てニーズの把握に努めている。地域のニーズに応じて「赤ちゃんステーション事業」「ハッピーパパ・ママ保育所体験事業」の実施のほか、夏のプール開放、図書の貸し出しや場合によっては一時預かりの対応もしている。

改善できる点／改善方法：

地域の保育ニーズの分析をし、制度の動向も注視しているが、制度変化だけでなく、家庭や地域の保育を取り巻く環境変化も著しい昨今、ニーズ把握に係る地域の関係団体・関係機関（子育て支援機関、民生児童委員等）との連携をより密にして、地域の子育てニーズの把握に努められたい。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者評価結果
	Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>マニュアルに、利用者尊重の基本姿勢について明示され、職員会で研修を通して周知理解を図っている。また、保育目標の中で「相手を思いやり、みんなと仲よくできる子」が掲げられ、一人ひとりの子どもを尊重した保育実践に日々心がけている。また、マニュアルに、プライバシー保護に関する規定が明示され、職員周知を図っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－１－（２） 利用者満足の上昇に努めている。		
	Ⅲ－１－（２）－① 利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>日常的な取り組み（連絡帳、行事反省、学級懇談、育みの日等）の中で保護者の意見を汲み取り、その解決を図っている。送迎用駐車場整備の問題、照明やオムツの問題等の解決が図られた。利用者の意見は、保育園を成長させる貴重な宝であると考え、今、その利用者参画のもとで、解決を図る仕組みが求められている。今後、保護者会との検討会を持つことを方向性として掲げているので、その取り組みに期待したい。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
	Ⅲ－１－（３）－① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－１－（３）－② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－１－（３）－③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園だよりの中に、保護者の意見が掲載された一節がある。日常的に、保護者が意見等を職員に述べやすい状況にあることが伺える。苦情解決の責任者及び担当者の設置や第三者委員の設置があり、その仕組みの玄関掲示や意見箱の設置等苦情解決の仕組みが確立され、また、迅速に対応している記録がある。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ-2 サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	Ⓐ・B・C
Ⅲ-2-(1)-②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育士の自己評価のプロセスを経て、保育園の自己評価を実施している。週一回はクラス内でのコミュニケーションの時間を設け、日々の保育実践の評価を行っている。評価結果は職員会で検討し、課題を明確にし、改善策は次の計画に反映させている。また今年度は、第三者評価を受審した。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ-2-(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果
Ⅲ-2-(2)-①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	Ⓐ・B・C
Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>提供するサービスの標準的な実施方法については、マニュアルが整備され、職員周知を図っている。また見直しは、職員会で検討している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。	Ⓐ・B・C
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・B・C
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>指導計画に基づいてサービスが実施され、実施状況、子どもの発達状況や生活状況等が記録されている。記録のあり方について園長が指導し、記録の管理体制については、マニュアルが整備され、職員会で周知を図っている。個人情報保護と情報開示についての規程があり、遵守している。子どもや保護者に関する情報は、主担任より、主任や園長に報告され、職員会で情報共有されている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－３ サービスの開始・継続

Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－３－（１）－① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－３－（１）－② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>充実したホームページで、サービス情報を発信している。その他岐阜市保育所（園）「入所あんない」や「ぶりあ」等で情報提供している。またパンフレットを公民館等に配置しており、園庭開放時の来訪者や見学希望者には説明を行っている。入園にあたっては、入園・進級のしおりを保護者に配布し説明を行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
	Ⅲ－３－（２）－① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>入退園についてのマニュアルを整備し、退園時にその後の相談も可能であることを説明する等、保育の継続性に配慮した対応を行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－４－（１）－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもの身体状況や生活状況を把握するためのアセスメント様式があり、定められた手順に従ってアセスメントを行っている。子ども一人ひとりのニーズや課題は、連絡帳、送迎の際の声かけ等で把握している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	Ⅲ－４－（２）－① サービス実施計画を適切に策定している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－４－（２）－② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>指導計画の策定については、保育課程に基づいて、子ども一人ひとりの発達状況や生活状況、ニーズや課題を明確にし、策定している。計画の見直しについては、定期的に職員会で検証・見直しを行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価細目の第三者評価結果 (児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育所保育の基本

Ⅳ－１ 養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１）保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 保育課程は、子どもや地域、家庭及び当園の保育の実態を踏まえ、保護者の意向や要望も取り入れながら、園長、主任、各組の担任、栄養士が分担し、定期的に評価、見直しを行い、改善に努めながら編成している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－１－（２）乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 担当者間で話し合いを十分に行い、個別指導計画を立て、職員会を通して職員全員が共通理解することで、子ども一人ひとりに対応した保育がなされている。職員間での伝達、連携方法として、クラスごとに連絡ノートを作り、早・遅番時でも対応できるようにしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－１－（３）１・２歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 朝の受け入れ時には、家での様子を保護者から伺ったり、連絡帳で読み取り、観察を十分に行い、担任間での共通理解を大切にしている。また送迎時には、必ず担任の保育士が、その日のエピソードを伝えるようにしている。未満児の部屋には、保育士手作りの遊具が多く見受けられ、温かみを感じられた。定期的に子どもの保育園での様子を写真に収め、視覚的情報を掲示し、保護者に情報提供している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－１－（４）３歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 登園後の準備、靴をそろえる等、基本的な生活習慣の定着に配慮している。３歳児では、室内でのコーナー遊び、園外での動植物のふれあい等で興味関心を深め、４歳児では、輪になって歌う、折り紙の基本を覚えたり、遊具遊びで友だちと一緒に遊び、５歳児では、目標に向かって協力する等それぞれの発達段階に応じた保育を行っている。このような子どもたちの取り組みについては、園だよりなどで保護者に伝えたり、デジカメ撮影を行い、情報提供している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－１－（５）小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	(A)・B・C

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>就学を見通した保育内容として、自信を育てる、仲間意識が強くなる、また役割分担が生じて進んで異年齢の子と関わり、協力してやり遂げようとするという時期なので、そのような気持ちを大切に育てていくような活動を行っている。また園長が小学校1年生の授業参観、幼保小交流会に参加し、就学前までに身につけておかなければならない力等を確認している。保護者に対しては、クラス懇談、個人懇談、「育みの日」を設け、相談の場の機会を作り、小学校以降の子どもの生活についての見通しが持てるような場が設定されている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

IV-2 環境を通して行う保育

	第三者評価結果
<p>IV-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。</p>	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>室内の温度、湿度の計測、エアコン、空気清浄器、換気等空調管理を行うことで、心地よく過ごすことができるように心がけている。また、子どもたちが活動に合わせて安全に過ごすことができるように、机、椅子、遊具の配置に配慮している。トイレは改築し、利用しやすいように整備されているが、さらにプライバシー確保のための空間の拡充に向けた取り組みに期待したい。掃除、寝具の消毒についても、定期的に行っている。さまざまな年齢層の職員を配置することで、子どもたちの精神的安定を図り、穏やかで、温かな言葉づかいに心がけている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-(2) 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。</p>	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>0歳児は、個人差に応じて欲求を満たし、睡眠と覚醒のリズムを整え、健康な生活リズムを作っていく。1歳児は、身近な人を区別し、保育士との関わりを基盤に歩行や言葉の獲得に向けて著しく発達する時期であり、一人ひとりの欲求に応え、生活リズムを重視して、食欲・排泄・睡眠などの生理的欲求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る。2歳児では、「自分で」を重視するために、着脱・排泄・手洗いを見守ることができる空間で行えるようにしている。また、園外は豊かな自然に恵まれ、十分探索活動もでき、固定遊具も身体機能促進のため整備されている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-(3) 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。</p>	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>集団生活でのルールの大切さを身につけるように、みんなで話し合う機会を設けている。トラブルが起きた場合、トラブルになった原因を考え、どうしたらトラブルにならないか、仲良くするにはどうしていったらいいか、子どもたちと考え、育ちを助けていく働きかけをしている。異年齢の友だちとの関わりや生活や遊びの中で役割を分担する楽しさを味わうように援助し、自発的な活動が発揮できるような知育玩具、身体の発達を促す遊具、想像力を培う廃材を準備している。</p>	

改善できる点／改善方法：	
IV-2-(4) 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>自然環境に恵まれ、のどかな環境の中で地域の人たちに接する機会が多く、挨拶や会話等も積極的に行っている。園庭にはドングリの木があり、近くには公園も多く、遠足、散歩、凧揚げ、鬼ごっこなどの集団遊びを楽しんでいる。散歩等で採取した生き物、草花を持ち帰り、図鑑や絵本で見て、季節や自然に対する興味を広げている。年中、年長児は定期バスを利用し、市の美術展、玉性院の鬼、シティータワー43等の見学にも出かけている。また高齢者施設を訪問し、歌、ハンドベル、プレゼント、肩たたき等お年寄りとの触れあう機会を作っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(5) 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>絵本、紙芝居(パネルシアター等)を中心に、読み聞かせを行っている。歌の内容を紙芝居に作り変えて歌うことを楽しんだり、カラ容器等の様々な素材で楽器を作り、リズムや表現遊びを楽しんだりしている。また、各種行事や園外で楽器演奏を発表する機会を設けている。製作活動や自由遊びの時は、クレヨン、絵具、粘土、紙等様々な材料を十分に準備することで、子どもたちが自由に選択し、遊ぶことができる環境となっている。年度終わりに、子どもたちの成長した姿を発表する生活発表会が開かれている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

IV-3 職員の資質向上

IV-3-(1) 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	第三者評価結果
	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>「自己評価ガイドライン」も踏まえて自己の目標を立て、各クラスで発表し、共通理解するようにしている。保育士が自己評価したもので園長と懇談を持つようにしている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

評価対象V 子どもの生活と発達

V-1 生活と発達の連続性

V-1-(1) 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	第三者評価結果
	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもたちがやる気を持ち、自分で考え、行動できるように、子どもたちの主体的な活動を援助している。子どもの気持ちが不安定になった時やトラブルが起こった時は、十分に思いを受け止め、共感しながら本人が納得できるような言葉がけをしている。複数担任制なので、個々の受容には十分時間をかけ、職員間の連携も大切にしている。</p>	

改善できる点／改善方法：	
V-1-(2) 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園独自様式の個別計画を作成している。担当保育士を決め、必要に応じて発達相談センターや医療機関と連携しながら保育に取り組んでいる。保護者とは連絡帳等を通して日常的な情報交換を大切にしている。また、保育協会の障がい児部会や外部研修に参加し、職員会で研修報告を行っている。障がいのあるなしの分けへだてなく、ともに生活している様子が伺え、共に成長できるような保育がされている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
V-1-(3) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>家庭的雰囲気を保つために、各コーナーに絨毯や仕切りつい立をしたり、また、安全に配慮しながら様々な年齢の子どもたちが遊ぶことができるような工夫をしている。夕食には満腹にならないほどの軽食を準備し、低年齢児の保護者には食べた物、量、食べた時間を知らせている。遅くまでいる子が1～2人と少ないので、特にその子たちには、寂しい思いをさせないように心がけて接している。</p>	
改善できる点／改善方法：	

V-2 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

V-2-(1) 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	第三者評価結果
	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>新年度ごとに、保護者より家庭調査票を提出してもらい、聞き取り調査もしながら、健康状態の把握に努めている。体調の悪くなった子は職員室のベッドで休ませ、健康状態は留意して観察し、熱が38度以上の場合は、保護者に連絡をしている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
V-2-(2) 食事を楽しむことができる工夫をしている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>食育計画に基づいて、毎月、職員や栄養士を交え、反省と次月への確認等の話し合いの場を設けている。音楽やお話のCDを流し、職員がともに食べながら子どもたちの嗜好を把握し、栄養のバランスを伝えるよう心がけている。3～5歳児の異年齢児でおやつを食べたり、ブロッコリー、大根、さつまいもを栽培し、食材として調理に使用し、食に対しての興味を深めていけるようにしている。栄養士が各クラスを訪問して、食育に関する話をしている。また、子どもたちで育てた野菜(ゴーヤ、ピーマン等)を、自分たちで育てた野菜ということで食べることができ、好き嫌いを無くすことができる機会となっている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

V-2-(3) 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 子どもの喫食状況については、日々保育士が状況を把握し、給食担当者に伝え、献立・調理の工夫に反映させている。その子の発達や健康状態に応じた調理の仕方に気をつけている。また献立表に基づいて、その季節に収穫される野菜を使用している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
V-2-(4) 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 健康診断・歯科健診の結果について、健診後、職員が保護者に伝え、治療が必要な場合は受診を勧めたり、今後の相談に対応している。子どもが歯みがきに興味を持てるように、絵本、紙芝居、歯みがき模型を使って、磨き方や歯みがきの大切さを伝えている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

V-3 健康及び安全の実施体制

V-3-(1) アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	第三者評価結果 (A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 入園時に個人面接を行い、アレルギー疾患の状態や主治医からの診断書等を基に、栄養士を中心に、担任、保護者とともに献立会議を行い、その子に合った献立を立て食事を提供している。主治医の許可のもと、アレルギー疾患のある子の服薬を預かることもあり、使用する場合は、取り決め書に基づいて使用している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
V-3-(2) 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： マニュアルに沿って、栄養士、調理師が中心となり、月1回の調理室の自己点検と毎日、日常衛生管理点検票で確認し、記録している。また、環境衛生定期検査を年3回実施している。</p>	
改善できる点／改善方法：	

評価対象VI 保護者に対する支援

VI-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
VI-1-(1) 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 給食だよりも、食に対する情報や献立を載せ、食の大切さを伝えている。週に2回、給食展示を行うことで、素材や調理に関心を持てるような工夫をし、またレシピも用意して、食事の作り方の参考にしてもらっている。保護者とは、家庭での食事状況や子どもの好き嫌い、食に対する相談ごと等を送迎時や連絡帳を利用してコミュニケーションを取るように心がけている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
VI-1-(2) 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 送迎時に保護者と常にコミュニケーションを行うことで、信頼関係を築いている。毎日の連絡帳への記載、日報、写真の掲示等により園での情報を伝え、また家庭での様子も、連絡帳の記載等で確認している。年1回個人懇談を行い、保護者の希望に対応している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
VI-1-(3) 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 入園・進級式では、園での保育方針や1年の目標を保護者に伝え、5月にクラス懇談、6月に個人懇談等を行っている。また随時の子育て相談については、保護者に「育みの日」の利用を促している。行事の終了後には、行事に対する意見を連絡帳に記入してもらったり、送迎時に意見を言ってもらったり、アンケートを取ったりしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
VI-1-(4) 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 園独自のマニュアルを作成して、対応している。虐待に対する外部研修会に参加し、職員会議等で報告し、意見交換を行っている。また市の担当課と連携を取り、虐待の疑いのある子に対して、園全体で把握に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象Ⅷ 個別サービス着眼点（岐阜県独自項目）

Ⅶ-1 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
Ⅶ-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 不審者情報について、警察や小学校と連携を取り、情報の連絡が入っている。不審者対策については、セキュリティー設備も含め、万全の体制が確立されている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶ-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 入園・進級式に、年間の行事予定を知らせるとともに、行事を実施する時は、事前に玄関に張り紙をし、参加協力を呼びかけている。また園だよりやクラス便りに行事について掲載し、保護者に配布することにより、関心を高めていただくよう促している。参加できなかった保護者に対しては、懇談会の資料を配布したり、行事の写真を園内に掲示することで、いつでも見学でき、その時の情報を伝えている。保護者が保育参観や保育参加ができるよう、園内を常に保護者等に開放している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅶ-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 保護者会との連携は十分できており、行事の前に、保護者会役員と職員で打ち合わせを行い、行事の際の駐車場の整理、誕生会・運動会のプレゼント選び等をお願いしている。また保護者には、保育参観後や土曜日等に話し合いや作業をしていただくために、施設を提供している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅶ-3 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ-3-(1) 保育所・幼稚園・小学校との連携した取組を行っている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 常磐小学校が中心となって、保育園・幼稚園・小学校が話し合う機会を持っている。園長が卒園した子どもたちの様子を観るために、授業参観に出席したり、就学に向けての説明を受けている。また卒園時には、小学校との情報交換を行っている。さらに、常磐小学校の先生方の研修も受け入れている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	